

審査員のコメント（グループ別）

七間レボリューションズ【1年A組】 Let's 七間革命

- 朝市の客層が変わってきていることに着目した点が良かったです。
- 「七間夜市」は面白い提案ですが、夏休み期間中の土日曜だけでは、なかなか「七間朝市の革命」には結び付かないでしょう。数百年続いた朝市と何らかの形で連携させる必要があります。
- 朝市の時間を変更することによるデメリットはないのでしょうか？
- 七間夜市という提案だけではなく、イベントの内容が具体的に考えられていて非常に良かったです。



高齢者をたすけ隊【1年B組】 高齢になっても住みやすい街に 優秀賞

- 「高齢化×廃校活用」という地域課題の掛け合わせで解決を図ろうという、これからのまちづくりに大切な発想が含まれていて良かったです。
- 高知県津野町の「森の巣箱」には私も泊ったことがあります。「森の巣箱」が活き活きと運営されているのは、これを支える地元住民による運営組織とリーダーがいるからです。誰がそうした仕組みを支えるかを考える必要があります。
- 「森の巣箱」の動画の後に、持論の展開があると更に説得力が増しました。
- 全国との比較、地理上の特徴など客観性を重視しており、分かりやすかったです。

Macks【1年C組】 越美北線をこれからも 最優秀賞

- 大野市の喫緊の課題に対して果敢に提案してくれてきたことが嬉しいです。高校生の皆さんも一緒にやりましょう。
- すでに行われている取り組みが目立ちました。過去から続いている課題をテーマにするのであれば、これまでの取り組みを十分に調べると良いと思います。
- 他県でローカル線の減便を防いでいる事例はないのでしょうか？
- 観光客・市民の双方に対するの提案があって良かったです。「駅」という視点からの提案もあると更に良かったです。

テーマ設定理由

- 越美北線の減便
- 越美北線の利用者数の増加
- 大野市の目標を達成する

大野市の目標とは？
市県に月に1回(年12回)乗ってもらおう！



チーム水【1年C組】 水を食べるレストラン具現化計画

- 大野の水に対する思いが伝わってくる発表でした。水汲みポンプの設置や、透明な水の配管などは面白い提案でした。
- 醤油カツ丼が市民の提案から商品化されたように、新たな水の「オリジナルメニュー」の提案があると更に良かったです。
- 「レストラン」という従来、民間が担う役割を市営にすることのメリットについて説明があると、論理性が高まります。
- 「水を食べる」という意味が伝わりにくいので、大野市の水の特徴をどのように「見える化」するのか考える必要があります。

水を使った体験・水の可視化



チームメガロドン【1年D組】 Let's 廃校リノベーション 審査員特別賞

- 集客方法や採算シミュレーションまで踏みこんでおり、説得力がありました。
- 企業にグランピングを開設してもらい、沢山お客を集めてもらうことも良いですが、まず高校生たちが、ここを活用してアウトドア活動をして、市民の関心を高めるといった視点があるとさらに良かったです。
- 旧小学校を活用してグランピングを展開しようという提案は、若者らしくて好感が持てます。
- 大野市の小学校の姉妹校を施設に招くという発想が新たな気づきとなりました。

廃校活用の成功例

